

## FMOCA コレクション展 Quality Of Life?

フォーエバー現代美術館では、2006 年春の開館以来、地域への文化貢献と高齢者の QOL(生活の質の向上)を目的として活動してきました。美術施設と医療福祉施設を美術作品によってリンクし、施設の社会化、地域の人々との交流、しいては地域社会への文化的貢献を目指す ART DIVERSEUM もその試みの一つです。

4 年間の活動を通し、活動にご参加いただいた方々やアーティストなど異分野間の対話から、様々な発想の源を見出すことができました。同時に、多様な感覚や視点からの反応や意見から、現在、既存の方法ではないプロジェクト体制が必要とされています。美術の社会的役割とは何か？美術を通し真に社会貢献できる方法とは何か？QOL とは何か？これらの基本的な課題を今一度見直すため、2009 年 11 月、ギャラリースペースを閉じ、新体制を始動することとなりました。今後はギャラリーでも美術館でもオルタナティブスペースでもない、新しい美術活動と活動の場を創出することを目標としていきます。

新体制への第一弾として、2009 年 10 月、FMOCA を含め市内 3 ヶ所の美術施設、福祉施設を会場に、コレクション展—Quality Of Life?—を開催します。

2009 年 10 月 9 日  
フォーエバー現代美術館  
チーフキュレーター 加藤 淳